

児童相談所関連研修「児童福祉司（応用）Ⅰ」

【第1回】	【実施日】	7月22日（月）、26日（金）
	【受講決定者数】	41名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のシステム論や認知行動療法などのように改めて様々な方法論、アプローチについて学べる機会があると良いと思いました。経験を重ねるごとに、意図せずケースワークの視点が経験に依ってしまっていることを再確認しました。応用の段階で知識に戻っていくのはこれまでのケースワークを振り返る機会にもなると思ったので今後もお願いしたいです。 ・認知行動理論、ケースフォーミュレーションという心理の分野の話でしたが、「抑止」という侵襲性の高い関わりをするワーカーが、「いま家族の中で何が起きているのか」をしっかりと考える視点を持つということの大事さを考えました。 ・俳優の方にロールプレイに入ってもらうなどできて、非常に臨場感のある中で支援者側の体験ができました。職域の違いや、現在の業務内容がケースからは離れていたため、自分が主となってケースワークを練習することにはやや戸惑いがありましたが、研修で学んだことを考えながら練習でき、とても充実した時間でした。
【第2回】	【実施日】	1月23日、24日
	【受講決定者数】	24名
	【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・家族が変化を嫌うというシステム論からの考え方が全て新鮮で、講義全てにおいて、考え方や視点が年数を重ねた今だからこそ活かせる点が多くありました。世帯の中でだれが課題を抱え、どんな課題か、その課題をクリアするには他の世帯員はどう思っているのか等のように誰も置き去りにすることなく、リフレーミングやジョイニングしながら家族に気づかせること、取り組んでいくことの大切さを学びました。 ・認知、感情、身体、行動で区別して捉えて問題の成り立ちを考える、外在化させるという具体的な方法を教わられてとても良かったです。今までは漫然と情報を扱っていたと思います。基本フレームを覚え、クライアント側とも面接の目的を共有できるようにしていきたいです。